

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年9月20日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0891500050		
法人名	有限会社 エム・エス・ティ介護倶楽部		
事業所名	高齢者グループホーム アテン中郷	ユニット名	1階
所在地	〒319-1555 茨城県北茨城市中郷町小野矢指846		
自己評価作成日	平成23年10月13日	評価結果 市町村受理日	平成24年9月20日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0891500050&SCD=320&PCD=08
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成23年12月26日	評価確定日	平成24年6月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>記憶や認知障害の為に、御自宅での一人暮らしや、御夫婦での生活に不安を感じている高齢者同士が助け合い、ふれあいながら職員と一緒に生活する家庭的な環境で、ゆったりした自由で楽しい「あたりまえの暮らし」をサポートする事を目的とします。</p> <p>ノーマライゼーションの精神が色濃く残っている閑静な住宅街で、自治会、老人会、近隣の子供会、幼稚園、小学校等の行事に積極的に参加交流し、地域に密着し開かれたグループホームであることを目指し「職員・家族」この方針で貫きたいと思っております。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、近隣住民や近隣の小学生、中学生と交流を図ったり、ホームヘルパー2級養成講座の実習生や養護学校の職業実習生を受け入れている。</p> <p>職員は利用者が喜びを感じながら張り合いのある日々を過ごせるよう、利用者の健康状態に合わせて椅子に座ったままでできる30分間のレクリエーション体操や週3回のカラオケ、趣味の手工芸など、リハビリテーションのプログラムを実施している。</p>

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	実践しています。	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を作成し玄関や事務室に掲示するとともに、管理者と職員は月1回の職員会議や勉強会で理念を唱和したり日々のケアで確認し合い、日常的に共有しながら実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	小学校との交流や養護学校の職業訓練、地域の行事などに参加しています。	利用者は散歩時に近隣住民と挨拶を交わしているほか、地域の小学校や中学校の運動会や行事に参加して地域の人々と交流を図っている。 近隣住民から野菜のお裾分けがある。 ホームヘルパー2級養成講座の実習生や養護学校の職業実習生を受け入れている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げていく認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	学校の受け入れをしています。(華川中学校職場体験学習、ヘルパー養成実習の受入など)		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回、運営推進会議を取り組んでいます。	運営推進会議は市職員2名と地域住民の代表、家族等の代表が参加しているが、2ヶ月に1回開催するまでには至っていない。 会議では利用者の暮らしぶりを報告しているほか、利用者の健康管理や食事の献立などを話し合い、出た意見等をサービスの質の向上に活かしている。	運営推進会議は2ヶ月に1回開催することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	平成20年度より、北相会（北茨城相談員勉強会）に参加しています。	管理者は市担当者に運営推進会議や電話、訪問などで利用者の状況やケアサービスの取組み、運営課題の相談などを行い、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	マニュアルを作成し、職員会議等で指導しております。	身体拘束排除に向けたマニュアルを作成しているほか、職員は勉強会を通して身体拘束の弊害を理解しており、居室や玄関の施錠を含め身体拘束をしないケアに努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	県から配布された資料などをもとに学習に取り組んでおります。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	該当する方はいませんが、皆で勉強しています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	必ずしています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の意見を聞きながら、意見箱を置いて意見を聞くようにしています。	管理者や職員は利用者や家族等が意見や要望を出し易い雰囲気づくりに努めるとともに、家族等が月1回利用料金支払いのために来訪する機会に意見や要望を聴くように努め、出た意見等には柔軟に対応している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議等、ミーティングの機会を設け、誰でも自由に意見交換できるようにしています。	代表者や管理者は日々の申し送り時や月1回の全体会議時に職員の話を聞くように努め、利用者への対応や工夫を凝らした年間行事などの提案を運営に反映させているほか、職員との食事会を実施してコミュニケーションを図りながら話し合う場を設け、出た意見等を運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	食事会を開いたり、特別手当を出してやりがいを持たせています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人教育リストで項目ごとにチェックしながら、職員の力量を高めるようにしています。研修などにも積極的に参加させています。月1回の職員会議や勉強会をしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	お互いに意見を交換し、サービスの向上に努めています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居するにあたって、安心出来るように本人に十分な説明をしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居するにあたって、安心出来るように家族に十分な説明をしています。また本人と一緒に来ていただいて見学してもらっています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前の生活の状況、ADL状況、実態調査記録を取りながら、サービスの向上に努めています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	掃除、洗濯たたみなど生活リハビリを兼ねながらお手伝いをしてもらっています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の方をイベント等にお招きして参加していただき、一緒の時間を過ごしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会に積極的に来ていただいたり、支払い時は現金で精算するので、ご本人と話をする機会を設けています。	職員は利用者と家族等との関係や利用者と地域とのこれまでの係わりを把握しており、外出時に利用者の住み慣れた場所を車で通ったり、2ヶ月に1回馴染みの美容師に散髪のため来訪してもらえるように連絡調整をしている。 地域に暮らす利用者の友人が遊びに来ており、職員は利用者がこれまで大切にしてきた人や場所との関係が継続できるように努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	共有の場所（リビング）で雑談したり、テレビを見たり、レクレーションをしたりしています。（カラオケなど）		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	病院へ行ってしまった人へのお見舞いなどを行っています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	アセスメントして本人のニーズに合わせて計画しています。	職員は日頃から利用者の様子を観察し、言葉や表情などから真意を推し測っている。 思いや意向の把握が困難な利用者に対しては、全職員で話し合い利用者本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居する前の実調して把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとり把握して、記録をつけています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	皆で話し合いながら計画を立てています。	介護支援専門員が家族等や管理者、職員で話し合い、利用者がより良く暮らすための現状に即した介護計画を作成している。 モニタリングはできるだけ3ヵ月毎に行い、6ヵ月毎に目標を決めて介護計画を作成している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	一人ひとり把握して、記録をつけています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	該当外		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ADL状況を考えると参加がなかなか難しいのですが、地域の空き缶拾いや、側溝の清掃など工夫をしながら参加しようと心がけています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院、主治医と連携を取りながら、対応しています。	利用者や家族等が希望するかかりつけ医への受診は家族等または職員が付き添っており、受診結果は相互に報告し合い記録に残している。 利用者の容態が急変した場合は協力医療機関の医師の指示を受けるとともに、家族等に速やかに連絡をしている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職員の正看がいますので、相談をしながら適切な受診や看護をしています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された時は、医療機関と管理者または看護師が連携を取りながら対応しています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	マニュアル作成し、看取りも考えて家族や職員と話し合いをしています。ターミナルケアも考えています。	「看取りに関する指針」と「看取り介護についての同意書」を作成するとともに、契約時に重度化した場合や終末期の事業所の対応方針を説明して利用者や家族等の同意を得ているほか、段階毎に話し合っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急連絡網を作成し、非常事態に備えています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域消防の指導を受けながら避難訓練を実施しています。	近隣住民の参加を得て自主消防訓練を実施しているが、消防署立会いの避難訓練や夜間を想定した避難訓練を実施するまでには至っていない。 実施記録を作成したり、訓練で明らかになった課題を話し合うまでには至っていない。 専用倉庫に米を備蓄しているほか、事業所内に食糧や飲料水、ランタン、懐中電灯、おむつなどを備蓄している。	消防署立会いの避難訓練や夜間を想定した避難訓練を実施するとともに、実施記録を作成したり訓練で明らかになった課題を話し合っただけで次の訓練に活かすことが望まれる。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	排泄の声掛けは皆の前では言わない事や、部屋で着替えをするなどの対応をしています。	職員はトイレ誘導時は利用者にさりげなく声をかけたり入浴時は1人ずつ対応するなど、利用者のプライバシーを損ねないよう配慮をしている。 個人情報取り扱いに関しては、利用者や家族等から同意を得ている。 利用者に関する書類は事務所の施設できる場所に保管し、責任ある取り扱いをしている。			
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人ひとりの意見を尊重し、物事を押し付けないように働きかけています。				
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	スーパーや散歩などに一緒に行ったり、マクドナルドなどに行ってお茶をしたり、外食などをしています。その人のペースに合わせて支援しています。				
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	身だしなみを整えています。定期的に髪をカットしています。近くの美容院へ行ったり、各個人に合わせて爪のお手入れ（マニキュアなど）をしています。				

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	準備や食事を一緒にしています。イベント時には、手作りのお弁当やおやつを作っています。	職員は利用者の希望を取り入れた献立を作成しているほか、クリスマスや正月、誕生会などの行事食は利用者と職員と一緒に作っている。 利用者一人ひとりの状態に合わせて摂取カロリーや食事形態に配慮した食事を提供しているほか、職員は食事介助をしながら和やかに会話をし、利用者と一緒に食事を摂っている。 利用者はテーブル拭きなどの役割を担っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの病歴や様子を見ながら、看護師と相談して支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後や寝る前に必ず口腔ケアをしています。各個人に合わせて口腔外科など受診しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄のパターンを把握し、時間をみながら声かけをし、トイレへ誘導しています。	職員は利用者一人ひとりの排泄を記録するとともに排泄パターンを把握して誘導し、トイレで排泄ができるよう支援をしているほか、おむつの使用を減らすように努め、排泄の自立に向けた支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維が多い野菜を食べたり、ヨーグルトを食べたり、レクで体操をしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	曜日、時間はある程度決定していますが、順番を変えたり、希望やお伺いをたててから、行動しています。	入浴は一日おきに午前中と決まっているが、通院などで入浴ができない場合は時間を変えたり、翌日に入浴ができるよう利用者のペースに合わせて支援をしている。 安心して入浴ができるよう脱衣場にトイレを設置しているほか、浴室には浴用椅子を備えている。 菖蒲湯や柚子湯を取り入れて季節を感じながら入浴が楽しめるよう工夫をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりのペースに合わせて支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各入居者毎に薬が分かりやすいように配置し、看護師の指示に従って服薬しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	趣味などそれぞれの方に合わせて支援をしています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	施設の中や、辺りを散歩しています。ベンチに座って犬と遊んだり、花見に行ったり、バーベキューなどしています。	利用者は職員と一緒に事業所周辺を散歩しているほか、その日の希望で近くのスーパーやマクドナルドに出かけたり、外食や喫茶を楽しむなど、日常的に外出をしている。 職員は日頃から利用者の希望を把握しており、職員会議で話し合って季節の花見や海浜のホテルでの食事、大洗水族館見学などを計画し、普段は行けない場所へも出かけられるように支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	預かっておりません。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は掛けたい時に掛けられる様に支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	常に清潔に保てるよう清掃をし、リビングに季節の花を飾るなど心がけています。	共用空間は適温に保たれ、窓辺から適度な陽ざしが差し込んでいる。 職員は光の刺激がないようにカーテンで陽光を調整し、利用者が居心地よく過ごせるように配慮をしている。 居間兼食堂からは広大に広がる田園風景を眺めることができ、利用者は季節の移り変わりを感じながら過ごしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングで雑談したり、畳の部屋でくつろげるようにしてあります。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具を持ち込み出来るようにしています。レイアウトも自由です。	居室には整理箆箆やベッド、寝具が備え付けられている。 利用者は家族等と相談しながら使い慣れた収納ケースやチェスト、テレビ、趣味の品などを持ち込んでいます。 居室毎に全て違う色のカーテンを設置しており、利用者がカーテンの色で自分の居室を判別できるように工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりを付けたり、自分の部屋がどこかわかりやすいように、一人ひとりの居室のカーテンの色を変えて工夫をしている。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが ○ 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの広がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目標達成計画

事業所名 高齢者グループホームアテン中郷

作成日 平成24年9月13日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	〈運営推進会議〉 2カ月に1回開催するまでに至っていない。	2カ月に1回、確実に開催し、会議での意見や要望を取り入れ、サービスの質の向上に活かす。	①2カ月に1回開催出来るよう、市町村職員、地域住民代表、御家族代表の方々に事前に案内を送付し、参加して頂けるよう促す。 ②会議の議題、日程を年間予定として各会決めておき、事前準備がスムーズに行えるよう努める。 ③会議録の作成。	6カ月
2	35	避難訓練実施記録の作成と消防署立ち会いによる避難訓練の実施。	①6カ月に1回、消防署立ち会いの下、避難訓練を実施する。 ②夜間や災害時など、様々なケースを想定した避難訓練を実施する。	①職員内で防災の担当者を決め、月1回の自主消防訓練、6カ月に1回消防署立ち会いの下、避難訓練を実施出来るようにする。 ②実施後は、反省点や問題点などを話し合い、改善できるように努める。また各回、実施記録の作成と保管。	6カ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。